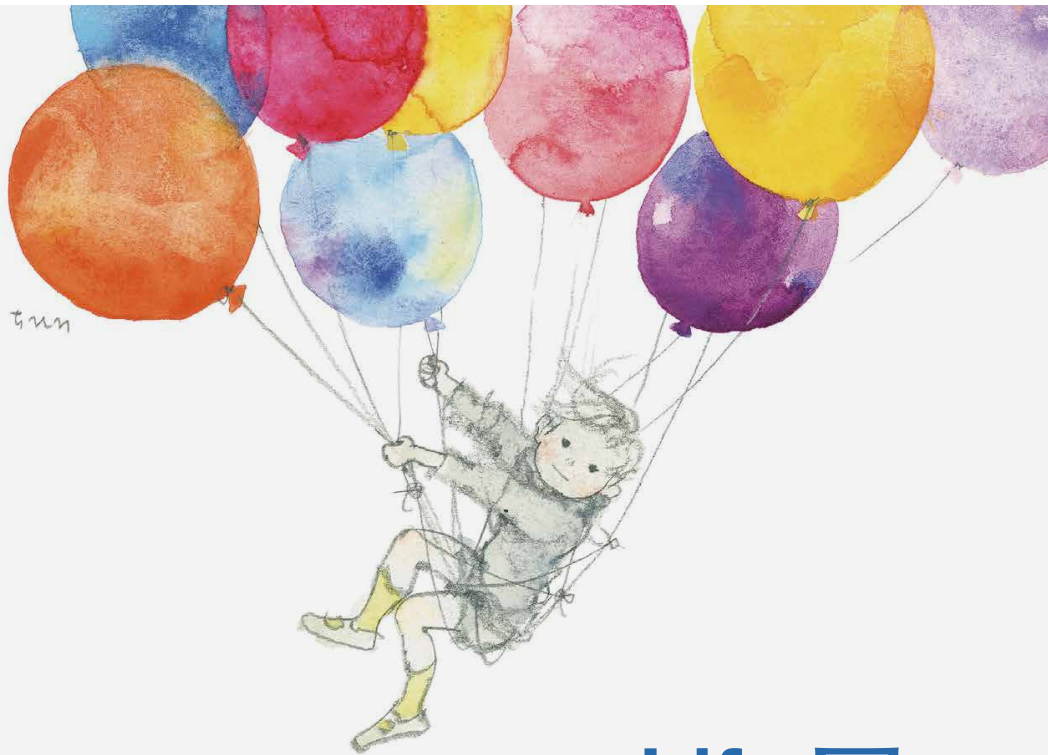


いわさき
ちひろ
生誕
100年



いわさきちひろが大切に描いたもの「Life」。
いわさきちひろの生誕100年にあたる2018年、いわさきちひろと、さまざまな分野で
活躍する七組の作家が「Life」をテーマに「plapla」を制作しています。

Life展



あそびば

「コラボレーション作家」

plapla

七月二十八日(土) - 十月二十八日(日)

ちひろ美術館・東京

一見て、触れて、あそんで、
ちひろを再発見

いわさきちひろは、生涯、子どもを描き続けた画家でした。いきいきと体を使ってあそんだり、自由な空想をふくらませてあそんだりする子どもたちの姿を、ちひろは数多く描きました。子どもは、あそびながら、さまざまなことを体験し、体全体で、この世界を知覚していきます。

本展では、多様なメディアを使い、体験型の作品を展開し続けるアートユニットplapla(プラプラックス)が、「あそび」をキーワードに、ちひろとコラボレーションします。plaplaは、映像を駆使してちひろの絵のなかに入っあそぶ、絵のなかの子どもたち、や、ちひろの絵本を体で楽しむ、絵を見るための遊具、など、参加型の作品を展開します。見て、触れて、ちひろの世界をあそびながら体感する展覧会です。

特別協賛：株式会社シタックエツ

協賛：株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン、元亨社

協力：遊具設計ヤサシ(株)アラキキチサキアーキテクツ

遊具製作：大木洋平 OKI FURNITURE & DESIGN

音楽：高見澤淳子、サウンド・エンジニアリングキター、高見澤完哉

プログラム：赤川智洋

後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本児童図書

図書評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区

教育委員会、中野区、西東京市教育委員会、練馬区



3



4



5



6



7



8

いわさきちひろ

一九一八年〜一九七四年

福井県武生現・越前市に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。一九五〇年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。同年、松本善明と結婚、翌年、長男猛を出産。一九五六年、小学館児童文化賞、一九六二年、産経児童出版文化賞、一九七三年「こころのくるひ」(至光社)でポロニア国際児童図書展グラフィック賞を受賞。一九七四年、肝臓ガンのため死去。享年五五歳。

plapax

(近森基十久納鏡子十算康明十小原藍)

主にインタラクティブアート分野における作品制作を手がける一方、公共空間、商業スペースやイベント等での空間演出や展示造形、映像コンテンツ制作、インタラクティブシステム開発、プロダクトデザイン、大学や企業との共同での技術開発など幅広く活動を展開する。<http://www.plapax.com/>

plapaxからのメッセージ

ちひろさんが子どもを描くとき、卓越した観察者あるいは母親の視線で「あそび」の躍動感を捉えている、と同時に、自身のなかの子ども(特に少女のころの記憶)がいつしよになってあそんでいる。絵のなかで、いっばいに身体を使ってあそんでいる子どもたちと、それを描きながら頭のなかで自由にあそんでいるちひろさん、そして来館したみなさんが、一体となってあそべる空間。そんな展示会を目一杯あそびながらくつろぎたいと思います。

展示会の見どころ

〈ちひろが描いたあそび子どもたち〉
息子をモデルに幼児の日常を描いた「ひとりりでできるよ」や、主人公の少女がとりに引越してきた少年とながよくなるまでを描いた「となりきた」など、ちひろが生き生きとあそぶ子どもたちの姿を描いた作品の数々を展示します。

〈あそんで体感！ちひろの絵の魅力〉

見る人のシルエツトがスクリーンに投影された絵のなかに登場したり、動きにあわせて足元に色が広がったり、まるでちひろの絵のなかに入ったみたい！ plapax が制作した驚きと楽しさにあふれる作品で、あそびながらちひろの絵の魅力を体感します。

〈体で楽しむちひろの絵本〉

ちひろが子どもの心になりきって、楽しみながら描いた絵本「ぼちのきたうみ」など三冊の絵本をテーマに、絵本とあそびが融合した「絵を見るための遊具を plapax が制作します。のぞいたり、のぼったり、くぐったり……、体を使っばいに使っばにちひろの絵本の世界観を楽しみます。

関連イベント

〈plapaxによるアーティストトーク〉

〔日時〕九月八日(土)午後三時〜〔定員〕四〇名(要申し込み)八月八日(水)受付開始 電話 ☎03-5451-1111 サイト

来館 〔参加費〕八〇〇円(入館料別)

〈ちひろの水彩技法体験ワークショップ〉

〔日時〕八月二日(木)・三日(金)・四日(土) 午前十時三十分〜午後三時〔対象〕五歳以上〔当日申し込み〕参加費二〇〇円(入館料別)

〈夏休み子どもギャラリートーク〉

〔日時〕八月十三日(月)・二十日(月) 午前十一時〜午後二時 〔対象〕小・中学生 *参加自由 無料

〈松本猛ギャラリートーク〉

〔日時〕九月二日(日) 午後三時三十分〜 *参加自由、無料(入館料のみ)

「ちひろ展」パスポート

すべての「ちひろ展」に入館できるパスポート二〇〇〇円(販売場所:ちひろ美術館(東京・安曇野))

関連書籍

『いわさきちひろ生誕100年 Life Ohno Masaki 100』 plapaxのインタビューも収録 二〇一八年三月一日 刊行 一三〇〇円(税別)

開催要項

〔展示会色〕いわさきちひろ生誕100年「ちひろ展」あそび plapax
〔会期〕二〇一八年七月二十八日(土)〜十月二十八日(日)
〔開館時間〕午前十時〜午後五時(入館は閉館の三十分钟前まで)
〔休館日〕月曜日(祝休日は開館)、翌平日休館 八月十日〜八月二十日は無休
〔入館料〕大人八〇〇円/高校生以下無料/「ちひろ展」パスポート二〇〇〇円

お問い合わせ

本展示会をご紹介いただける場合に、リリース内に掲載の作品画像データをお貸し出します。ご希望の場合は、左記担当までご連絡ください。

ちひろ美術館・東京 広報担当 北村・高津 武石 中平
〒一七七・〇〇四 東京都練馬区下石神井四・七二 電話 〇三・三九九五・〇七七二(業務用) 〔電送〕〇三・三九九五・〇六八〇 [Eメール] publicity@chihiro.or.jp

1. いわさきちひろ 風船(まじい)より少年「あかいふせ」(備後社)より、一九六八年
2. plapaxの具の足あと(二〇一八年) 撮影: plapax
3. plapax 近森基十久納鏡子十算康明十小原藍
4. plapaxの絵本を見るための遊具(二〇一八年) 撮影: 森本葉樹
5. plapaxのあそびの子どもたち(二〇一八年)
6. いわさきちひろの夏の書(白ひなとてら) 一九六九年
7. いわさきちひろの描く「こころのくるひ」(なごりきた)
8. いわさきちひろの「あそびのこころ」(こころのくるひ) (至光社)より、一九七〇年

いわさきちひろ生誕100年サイト
100.chihiro.jp